



3月議会、「生活を守る政治」へ第一歩!!

3月議会（定例会）は3月2～23日、21日間の日程で召集されました。

代表質問は8日、一般質問は9・10日に開催され、やまざき智之は10日の3番目に質問を行いました。

質問を行う前に、武元文平市長に「市民生活を守る」ことを政治の最優先課題に取り組むよう求めました。

質問に入り、高齢者負担が強い介護保険制度の抜本改革や、信用保証料助成・入札制度改革などの中小企業支援の具体策、「パトリア」・「ミナクル」など駅前再開発の検証などについて市長の考えを尋ねました。

17・18日、副委員長を務める「総務企画常任委員会」で新年度予算案・補正予算案を中心に歳入・歳出や条例案の審議を行いました。

23日の最終日には総額 288 億円の**新年度予算**や神戸川改修工事を含む**補正予算**、市議選で強く求めていた**情報公開条例の改正**や**特別会計の廃止**（公共用地先行取得事業特別会計）など40議案が可決・成立しました。

新年度予算は今までの「緊縮財政」を転換し、「生活を守る政治」を実現するための第一歩となります。（広報ななお・議会だよりにも掲載されています）



Q&A やまざき智之の一般質問

Nanao is discussed.
General Question

① 介護保険制度の抜本見直しを！

介護保険料が県内で最も高額な月額平均5,100円であることから、**介護保険事業の見直しと保険料の軽減**を求めるとともに、「**介護保険法**」を改正し、**負担割合見直しを国に要望**するよう求めました。

市長は「介護サービスの待機者が500人以上おり、改善するには施設が不足している状況で、施設整備や人材確保のためには介護給付が大幅に増加する。」とし、「**自治体だけでは今後の高齢化社会を支えることはできない。**」と答弁し国に要望していく姿勢を表明しました。

また、議会において「**介護保険制度の抜本的な基盤整備を求める意見書**」を可決し、国に提出しました。介護保険制度の改革を国に求める議会の一致した姿勢を示すことができました。

② 駅前再開発の検証を！

駅前再開発ビル「パトリア」・「ミナクル」の現状について市長の認識を尋ねました。

入居テナントの状況を見る限り、健康福祉部や市役所関連施設の入居で実質的な「**第二庁舎**」となっており、**市役所と行政サービスが分離している現状**について再検討を求めました。

市長は**テナント誘致が進んでいない現状を認め**たうえで、再開発ビルへの市役所施設の入居は市民サービスに役立っていることを強調、議論は物別れに終わりました。

一方で以前から求めていた、ミナクル建設などで駅前から撤去された**時計の設置や観光案内所を食祭市場に開設**することについて前向きに検討していくこととなりました。

今後もあり方について議論をしていきます。